

岡大生インターンの受け入れと思考スキル・思考ツールの活用に向けての研修

新庄村小中学校連絡協議会

活動の目的

小中学生にとっては、幅広く村内外の人と交流することでコミュニケーション能力の育成をはかる。また、多くの人と関わる中で児童生徒には「ふるさと」についての新たな視点を見だし、「探求的な学習」を推進する。また、大学生にとって学校と地域のつながりを肌で感じる。

活動の内容及び経過

1 春のがいせん桜まつりに向けての取り組み

春のがいせん桜まつり（4/16）に中学校として「観光案内」「バザー出店」「AMDA募金集め」の3班で参加している。「観光案内」は事前に岡大生に案内をして予行演習をしてから当日を迎えるようにした。3班とも活動がはじめて合う人に話しかけていく必要がありコミュニケーション能力が試されるものとなっている。中学生が自分たちでルーブリックを作成し、評価を自分たちでできるよう工夫している。

2 岡大生インターン受け入れ（開成高校との交流会にも参加）

岡大生インターン受け入れ（5/15～）を開始。岡大は教育学部に地域枠が開設されるのに向けて地域との関わりの深い学校で、学生を活動させて将来に向けての資料を集めたいと考えている。また、本小中学校では生徒のコミュニケーション能力の育成やキャリアプランニング能力育成の観点からできるだけ多くの人と関わりを持つことを教育活動の様々な場面で取り組んでいる。岡大生をインターンとして受け入れることで児童・生徒が岡大生に遊んでもらったり、話しかけたり、大学生からいろいろな意見や考え方を話してもらうことで多様な価値観にふれ、自身の成長の一助とすることができた。

3 村合同運動会（9/10）に参加

新庄村合同運動会は「ひなどり会」「保育園」「小学校」「中学校」「村内の地区対抗」とまさしく村を挙げての行事となっている。大学生も準備・演技・片付けに参加し、中学生と一緒にフォークダンスを踊ったり村民みんなで踊る「新庄よいとこ」に参加したりと地域の中での学校の姿を観ることができ、とても有意義な体験ができたようだ。

4 思考スキル・思考ツールの活用に向けての研修

鳴門教育大学 准教授 泰山裕 先生に講師を依頼し、小中合同で12月6日に講演を、3月1日に研究授業を実施することができた。児童・生徒の「考える」を思考スキルとして分類し具体的に指示ができるようにすること、また、その思考の道筋を思考ツールを使って可視化し、表



現力の向上に努めた。

活動の成果・効果

岡大生インターン受け入れにより今までになかった出会いをすることができ、コミュニケーション能力の育成という面ですばらしい機会を得ることができた。大学生も地域の中の小中学校という姿が体感できる活動になったものと考えられる。

今後の課題と問題点

岡大と離れていてやはり交通の面で不便な点は否定できない。大学生の到着は11時ぐらいになり、帰りは16時30分には出発という日程にならざるを得ない。苦勞してやってくる学生にとって価値あるインターンにしたい。

- 代表者：柴原克彦 ●所在地：真庭郡新庄村
- TEL：0867-56-3012 ●E-MAIL：shinjojhs@mx51.tiki.ne.jp
- 設立年：2017年 ●メンバー数：22名